

I. 公益財団法人小岩井農場財団 2025年度事業計画

事業期間：2025年4月1日から2026年3月31日

本財団は、「重要文化財小岩井農場施設の建造物を保有し、それらに対し修復・管理・保存環境の整備を図ると共に、わが国の農業近代化の変遷に於ける小岩井農場の重要文化財の学術的調査研究及び普及を図り、もって学術・文化の振興に寄与する事」を事業目的としている。

重要文化財21棟はその多くが稼働している特徴があるが、経年劣化や腐朽、東日本大震災の影響により、耐震性能が低下している。人命に対する安全性と文化財保存の両観点により、耐震補強工事及び修復が急務である。

しかしながら昨今の建築費高騰により、耐震補強の事業費が財団設立時の想定より多額となっており、当初予定していた補修全体計画を再検討する必要性が生じている。

7期目となる2025年度は、耐震補強に向けた国庫補助事業の実施、公開普及活動に加え、補修全体計画の見直しと事業費の財源確保に向けた活動が主となる。

記

1. 文化財の公開と普及活動

本財団が保有する重要文化財建造物21棟を広く一般に公開し、わが国の農業近代化に於ける牧畜業の発展の歴史の啓蒙を中心に普及活動を行なう。

- (1) 重要文化財群の文化・技術・歴史的な価値並びに意義を広めるべく、SNSやホームページで情報発信を行う。またイベントを企画し実行する。
- (2) 2023年に開催した北海道大学総合博物館との共同企画展を東京大学などで開催する。

2. 文化財の保存・補修計画の策定と実施

2025(R7)年度は耐震補強計画及び第四号牛舎の第二期耐震対策工事を実施する。また、文化庁及び有識者の指導を仰ぎ、人命優先と文化財保護の両方の観点で、補修全体計画の再検討を実施する。

(1) 耐震補強計画事業実施予定建造物

耐震補強案策定の対象建造物として、以下を予定している。2022(R4)年度から実施している、第一号牛舎をはじめとする11棟の耐震診断事業は、この4棟をもって完了となる。また2026(R8)年度は、文化庁の指導により新たに秤量場の耐震診断及び耐震補強計画を行う計画である。

- ① 耕耘部倉庫(M38年建造)
- ② 本部第二号倉庫(M31年建造)
- ③ 本部第一号倉庫(M41年建造)
- ④ 乗馬厩(S11年建造)
- ⑤ 秤量場(S11年移築)

- (2) 耐震対策工事業実施予定建造物
上丸第四号牛舎の耐震対策工事第二期工事を実施する。
 - ① 上丸第四号牛舎（M4 1 年建造）

3. 文化財の保存補修及び管理並びに公開普及の為の資金

- (1) 三菱グループ企業24社よりの寄附金
三菱グループ企業24社より70百万円の寄附金を受贈頂く。
- (2) 東山農事並びに小岩井農牧よりの寄付金
東山農事より6.5百万円、小岩井農牧より3.3百万円の寄附金を受贈頂く。
- (3) 文化庁よりの文化財補助金
耐震診断事業及び耐震対策工事に対し、文化庁より国庫補助事業としての支援を頂く。
- (4) クラウドファンディングの活用
新たな財源確保のために2025年度はクラウドファンディングを2回実施する計画である。さらに2025年度中に、雫石町からご支援を頂き、クラウドファンディング型ふるさと納税の導入を検討頂いている。実施にあたり、わが国を代表する農業近代化遺産の価値を啓蒙するべく広報活動に注力し、「重要文化財小岩井農場施設」への継続的な支援者獲得につなげる。また、クラウドファンディングによる資金調達を含めた、財団運営の能動的な長期計画を立案し、事業推進並びに財団運営の安定化を図る。

4. 文化財の研究の推進

小岩井農場と同様に農業近代化遺産としての重要文化財を所有している北海道大学札幌農学校第2農場との学術的連携を深めると共に、耐震診断事業並びに現地調査での研究成果を有識者の協力を得て取り纏めていく。

5. 上丸牛舎公開エリア及び重要文化財ギャラリーの充実化と利用者促進

「重要文化財小岩井農場施設」の歴史と価値の理解促進の場である、上丸牛舎公開エリア及び重要文化財ギャラリーでのイベントを企画し実行すると共に、耐震補強工事等の写真を展示し情報発信を行う。

2025年度公益財団法人小岩井農場財団第7期事業計画詳細

1.主な事業活動等予定

年月日	事業内容	摘要
2025年4月1日	小岩井農場財団第7期事業開始	
2025年4月1日	令和7年度耐震診断事業交付決定通知	第一号牛舎他11棟4カ年事業4年目
2025年4月初旬	補助事業契約及び着手	耐震診断事業、耐震対策工事
2025年4月中旬	耐震対策工事第二期工事着工	第四号牛舎
2025年4月中旬	寄附金御依頼	各社他
2025年5月上旬	2024年度決算について監査	
2025年5月中旬	文化財ウォークツアー	上丸牛舎及び冷蔵庫
2025年5月中旬	第1回通常理事会開催	事業報告及び決算・評議委員会開催、役員改選
2025年6月上旬	定時評議員会開催	事業報告及び決算
2025年6月末迄	内閣府事業報告等書類提出	
2025年8月下旬	耐震診断事業有識者会議	
2025年10月	全建連「近代化遺産全国一斉公開」参加	ガイド付き文化財ウォークツアー開催（特別公開・セミナー）
2025年10月中旬	第1回臨時理事会開催	代表理事業務報告
2026年1月末	令和8年度文化庁補助事業交付申請	耐震診断事業他
2026年2月初旬	耐震診断事業有識者会議	
2026年2月下旬	第2回通常理事会開催	令和8年度事業計画及び予算案
2026年3月末迄	内閣府事業計画等書類提出	内閣府
2026年3月末	令和7年度補助事業実績報告提出	文化庁

2.具体的事業内容

1)調査研究・保全事業

①文化財の管理、修理等

- ・文化財建造物のき損等に関する日常管理の他、異常気象に伴うき損等の管理、修理手続き等

②令和7年度耐震診断事業実施（文化庁補助事業）

- ・耐震診断事業（耕耘部倉庫、本部第二号倉庫、本部第一号倉庫、乗馬厩の補強案策定）
事業期間：1年間、総事業費17,001,678円

③令和7年度耐震対策工事事業実施（文化庁補助事業）

- ・耐震対策工事（第四号牛舎）第二期工事
事業期間：2年間、総事業費103,372,000円（追加工事29,250千円の増）

2)公開普及事業

①文化財企画展及び特別公開

- ・文化財特別公開及びガイド付きウォークツアーの開催（2回）
- ・全国近代化建造物連絡協議会主催「近代化遺産全国一斉公開」事業への参加

②文化財の研究の推進

- ・2023年に開催した北海道大学との共同企画展「近代農業が見た夢」を、各地で開催し公開普及を図る。

③展示館事業

- ・重要文化財ギャラリーに係る成果調査（訪日外国人への魅力発信についてのアンケート）及び検証。
- ・補助事業の進捗状況（四号牛舎補強工事）をギャラリーに掲示し、情報発信を行う。

以上